

「岸良中学校の岸良棒踊り・鎌踊り伝承活動の取組」

1 学校名

肝付町立岸良中学校

2 学年・人数

中学生1～3年生（4名）

3 日時・場所

（1）練習の日時・場所

平成30年10月 放課後（本校体育館）

（2）発表の日時・場所

平成30年10月28日

中学校文化祭「岸良フェスタ」（本校体育館）

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事について

（1）名称

岸良棒踊り（きしらぼうおどり）

鎌踊り（かまおどり）

（2）由来

「治作どん」という人物が移住して広めたという伝承がある。岸良東地区と西地区にそれぞれ伝承されていたものが統合された。五穀豊穡や、敵に襲われた際の武芸の形をかたどり、踊りにしたと伝わっている。

（3）構成等

歌を歌いながら歌い手と舞手は入場する。舞手は地面を棒で突きながら入場する。まず、棒踊りを行い、次に鎌踊りを行い、歌いながら退場をする。

5 保存会や地域との連携の具体

歌い手は保存会の方々が、舞手は中学生・高校生が務める。指導は放課後に保存会の方々が行う。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

指導者が来られない時のために、ビデオカメラを使用し、指導者の動きを記録しておく。また、舞手が少数の為、高校生に協力してもらい舞手を増やした。

7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



【練習風景】



【文化祭での発表】



【文化祭での発表】

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

【生徒】

「伝統芸能を受け継ぐ」

岸良中1年 岩崎 雅弥

今年の岸良フェスタでも、棒踊りをする事になった。僕は、まだ岸良中に来て1年目だったので、踊るのも見るのも初めてだった。ビデオで棒踊りの映像を見たときは、その迫力と動きに驚き、自分にできるか不安になった。

6人一組で踊る棒踊り。今年は中学生が4人しかいないので、フェスタで披露できるかどうか分からなかったが、二人の卒業生が友情出演してくれるということになり、練習が始まった。先輩たちに教えてもらいながら、少しずつ動きを覚えた。本番が近づいてくると、棒踊り保存会の方々の練習も始まった。棒の動きとかけ声を出すタイミングが難しく、覚えるのに時間がかかった。

いよいよ岸良フェスタ本番。緊張していたが、保存会の方の歌声と棒をつく音、打ち合う音が体育館中に響き渡り、踊っている自分にもその迫力が伝わってきて、棒踊りの力強さを感じられた。

岸良の棒踊りは、これまでずっと続いてきた郷土芸能だ。来年は自分がしてもらったように、新しく入学してくる一年生に棒踊りを教えたり、自分自身の動きやかけ声もより力強くしたりしていきたい。この郷土芸能を守り伝えていく一人として、卒業するまでしっかりと役目を果たしたい。